様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和８ 年　 6 月　 29 日

福島市長　馬場雄基　様

提出者

住　所　　福島市佐原字下林１６番地１

氏　名　　株式会社　尾　形　建　設
代表取締役　尾形一人

電話番号　　０２４－５９３－２２６２

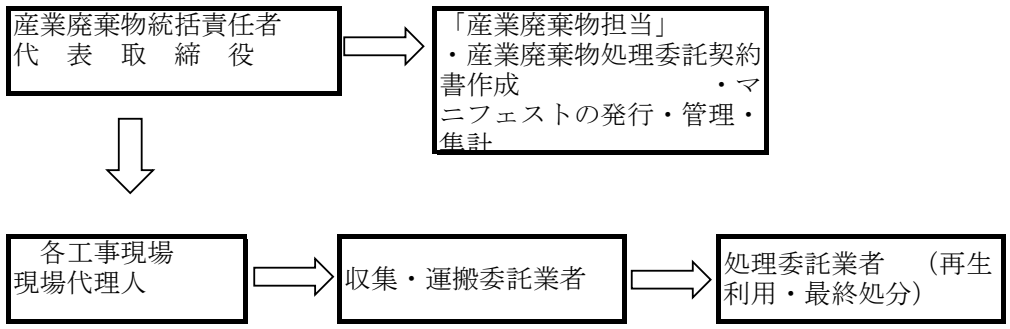
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社　尾　形　建　設
事業場の所在地	福島市佐原字下林１６番地１
計　画　期　間	令和８年　４月　１日　から　令和　９年　３月３１日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①　事　業　の　種　類	大分類：建設業　中分類：総合工事業
②　事　業　の　規　模	２７５，０００，０００円
③　従　業　員　数	１０人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	［**舗装修繕工事・橋梁補修工事・各工事現場**］　　**がれき**類⇒中間処理業者、又は再生処理業者に委託　して、再生骨材として再資源化　　**木くず**⇒中間処理業者、又は再生処理業者に委託して、燃料用として再資源化　　**金属くず**⇒最終処分業者又は再生処理業者へ委託　　**廃プラスチック類**⇒中間処理業者又は最終処分業者へ委託 **建設系混合廃棄物**⇒中間処理業者又は最終処分業者へ委託

（日本工業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項　　別紙のとおり

①現状	【前年度（　　年度）実績】				
	産業廃棄物の種類_				
	排　出　量_	t	t	t	t
	（これまでに実施した取組） 受注した工事により産業廃棄物の発生量は様々なので、発生時に分別を徹底し、再生を前提とした業者を選定し、処理の委託を行っている。				
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類_	がれき類	廃プラ	金　属	木くず
	排　出　量_	t	t	t	t
	（今後実施する予定の取組） 受注した工事により産業廃棄物の発生量の予測は難しいので、適正に処理しさらに再生材の利用を増加させたい。				

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） がれき類・廃プラスチック類・金属くず・木くずなど発生する産業廃棄物の種類ごとに混合しないよう発生現場にコンテナ等を設置し、分別している。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 引き続き、発生現場での分別を徹底し適正な分別と処理に取組む。

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項　　別紙のとおり</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類_</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
該当なし</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類_</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
該当なし</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項　　別紙のとおり</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類_</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
該当なし</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類_</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
該当なし</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項　　別紙のとおり</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類_</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
該当なし</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
該当なし</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項　　別紙のとおり</td></tr>
<tr><td rowspan="7">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類_</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>全処理委託量_</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
現場で発生した廃棄物を適正に処理し、再生利用業者へ処理の委託を行い再生材料の利用を促進させたい。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td></td><td>②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>産業廃棄物の種類_</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>全処理委託量_</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
発生する廃棄物に対しこれまで実施した取り組みを継続し　　て、再生処理業者を選定し適正に処理する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請じ完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

【別紙】

項　目			産業廃棄物の種類 ※量の単位はt(トン)										合計(t)
			がれき類	木くず	廃プラ	金属くず	汚泥	その他のがれき類	建設混合廃棄物				
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項	排出量	現状	1,038	10	5	8	3	1	1				1066
		計画	800	10	5	8	2	1	1				827
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項		現状	0	0	0	0	0	0	0				0
		計画	0	0	0	0	0	0	0				0
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	現状	0	0	0	0	0	0	0				0
		計画	0	0	0	0	0	0	0				0
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	現状	0	0	0	0	0	0	0				0
		計画	0	0	0	0	0	0	0				0
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項		現状	0	0	0	0	0	0	0				0
		計画	0	0	0	0	0	0	0				0
産業廃棄物の処理の委託に関する事項	全処理委託量	現状	1038	10	5	8	3	1	1				1066
		計画	800	10	5	8	2	1	1				827
	優良認定処理業者への処理委託量	現状	0	0	0	0	0	0	0				0
		計画	0	0	0	0	0	0	0				0
	再生利用業者への処理委託量	現状	1037	10	5	8	3	1	1				1065
		計画	800	10	5	8	2	1	1				827
	認定熱回収業者への処理委託量	現状	0	0	0	0	0	0	0				0
		計画	0	0	0	0	0	0	0				0
	定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	現状	0	0	0	0	0	0	0				0
		計画	0	0	0	0	0	0	0				0